

広島県がV B誘致の1号選定

【広島】広島県は今年度から始めた県外ベンチャー企業（V B）の誘致・育成事業で支援する第一号企業に、エックス線露光技術を使った超微細加工ウエハーを開発・生産するフィルテック（東京・千代田、古村雄二社長）を選定した。同社は現在主流の各種レーザーを使った露光技術よりも微細な回路加工が可能なナノテクノロジー（超微細技術）を駆使し、最先端ウエハーの開発・生産に取り組んでいる。新設の投資事業組合が二千万円を出資し、来年一月をメドに広島市中心部のオフィスビル内の事務所も無料貸与する。

広島県は今年度、ベンチャーキャピタル（V C）などと連携し、県外V Bの誘致・育成に着手。情報技術（I T）、バイオ、ナノテクなど成長分野のV Bを対象に公募し、応募した十一社の中からフィルテックを選んだ。